

第25回 大鹿村リニア連絡協議会を開催

・リニア工事による影響調査の情報や住民意見を共有し、リニア工事全般に関わる事項について連絡調整を行うことを目的に、JR東海、施工業者、長野県、大鹿村及び住民による「大鹿村リニア連絡協議会」が9月27日に交流センター於いて、関係者51名が出席し開催されました。以下に概要をお知らせします。

① (主)松川インター大鹿線改良工事について

・(主) 松川インター大鹿線について、実施中及び完了済みの箇所について説明がありました。



道路改良工事：調査・設計



道路改良工事：盛土造成工事



防災対策工事：地質調査・測量設計

※写真中央看板について撤去済み

・(国) 152号下樽渡橋の架替工事について、仮橋及び取付道路の設置が終わり、令和4年9月16日より供用を開始している説明がありました。

② 南アルプストンネル工事について

【小渋川非常口】

・本坑（品川方）の掘削を進めています。

【除山・釜沢非常口】

・除山非常口からは、先進坑（品川方）の掘削を進めています。

・釜沢非常口からは、本坑（品川方）の掘削を進めています。

・基準値を上回った発生土については、環境保全計画に基づき、仮置き場Eの要対策土仮置き場に仮置きしています。（前回6月協議会で説明した以降、基準値を上回った発生土は1日分のみです）。要対策土の搬出計画については、今後JR東海より改めて説明があります。

③ 伊那山地トンネル（青木川工区）工事について

【青木川非常口】

・本坑（品川方）の掘削を進めています。

・深ヶ沢地籍の発生土置き場（青木川）では、排水構造物の設置が完了し、引き続き発生土による造成を行っています。

④ 工事用車両台数について

【上赤須廃棄物置場跡地整備（駒ヶ根市）】

・運搬期間：令和4年11月～令和5年2月

・運搬台数：往復約140台～160台/日



【新宮川岸地区土地改良事業等（駒ヶ根市中沢）】

- 運搬期間：令和5年3月～令和6年度末
- 運搬台数：往復約300台/日



【工事車両通行台数（大鹿村役場前）】

月別日平均 往復台数	2022年(R4年)				2023年(R5年)	
	1月～3月 予定	4月～6月 予定	7月～9月 予定	10月～12月 予定	1月～3月 予定	
資機材運搬	80	80	80	80	80	
発生土運搬	伊那IC 工業団地	100	240	240	240	240
	JR工事による 発生土運搬車両				140	140～160
	高森町事業への 発生土運搬車両	300	300	300	120～160	
	半の沢道路改良事業 への発生土運搬車両	40	200	200	200～380	200～360
合計	520	820	820	820	820	

- 10月以降については、合計台数が820台/日・往復を上回らないように各運搬先台数を調整します。
 - 左記以外の運搬計画は、発生土活用先の計画が決定次第、随時お知らせします。
- ※「月別日平均」とは、月延総台数を1月当りの工事稼働日数で割り戻した数値です。

■資機材運搬車両

月別日平均 往復台数	深ヶ沢	下青木 薬師堂前	沢戸橋	大鹿村 役場前	半の沢	渡場 交差点
R4.6 実績	1.7	24.3	47.8	22.4	52.2	29.8
R4.7 実績	1.0	16.6	53.7	20.7	52.9	32.2
R4.8 実績	0.0	11.7	55.5	19.5	49.8	30.3
R4.9 実績	0.0	13.6	44.9	16.2	37.0	20.8
R4.10 ～R4.12 予定	2.0	30.0	110.0	80.0	145.0	65.0

■発生土運搬車両

月別日平均 往復台数		深ヶ沢	下青木 薬師堂前	沢戸橋	大鹿村 役場前	半の沢	渡場 交差点
発生土運搬車両 JR工事による	実績	R4.6	50.1	72.6	66.4	139.0	139.0
		R4.7	0.0	73.2	75.1	148.3	148.3
		R4.8	13.3	60.4	100.6	161.0	161.0
		R4.9	91.6	67.1	117.1	184.2	184.2
発生土運搬車両 高森町事業への	予定①	R4.10 ～R4.12	60.0	100.0	140.0 ～280.0	240.0 ～380.0	240.0 ～380.0
	実績	R4.6		86.3	159.7	246.0	246.0
		R4.7		69.5	165.0	234.5	234.5
		R4.8		68.2	167.9	236.1	236.1
発生土運搬車両 半の沢道路改良事業への	予定②	R4.10 ～R4.12		20.0	100.0 ～140.0	120.0 ～160.0	120.0 ～160.0
	実績	R4.6			269.7	269.7	269.7
		R4.7			233.8	233.8	233.8
		R4.8			230.1	230.1	230.1
R4.10～R4.12 発生土運搬車両台数合計 ①+②+③	予定③	R4.10 ～R4.12			200.0 ～380.0	200.0 ～380.0	200.0 ～380.0
	合計		60.0	120.0	620.0	740.0	740.0
							360.0 ～540.0

※R4.9の台数は9/15までの実績台数です。
 ※10月以降については、合計台数が820台/日・往復を上回らないように各運搬先を調整します。

⑤ 対策土の活用に向けた検討について

盛土材として活用する際の対策方法の考え方

①直接摂取されるリスクを回避する

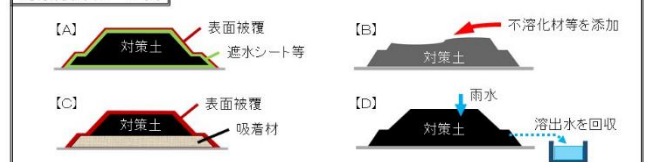
- 風に飛散したりしないよう、土砂やアスファルト等で表面を被覆します。

②地下水等に溶け出し、摂取されるリスクを回避する

※以下のいずれかを基本に対策方法を検討します

- 遮水シートや粘性土等で封じ込める
- 不溶化材等を加え、水に触れた際の溶出量を低減する
- 重金属等を吸着する材料を敷設する
- 雨水にさらした状態で盛土し、濃度を低減させる

対策方法イメージ図



今後の進め方

- 対策土活用の検討にあたっては、有識者が参加する検討会を JR 東海が開催し、助言を得ながら実施してまいります。また、検討会には、長野県にもオブザーバーとして参加いただきます。
- 不溶化による対策土活用を検討するために、仮置き場 E にて南アルプストンネルで発生している対策土を使用した試験施工等を行ってまいります。
- 今後、リニア連絡協議会にて、検討状況等を適宜ご説明していきます。

⑥ 鳶ヶ巣沢環境対策事業に関する工事説明について

■道路整備の計画概要

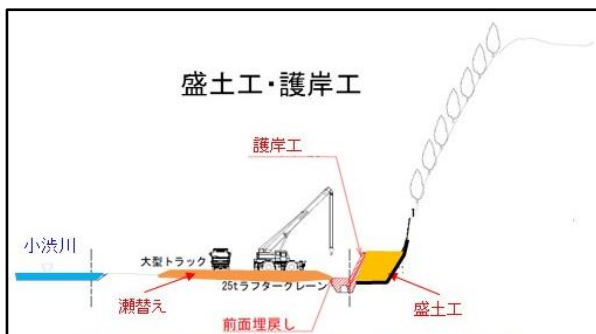


• 渡河設備については橋りょうで計画しておりましたが、小洪川左岸側の鳶ヶ巣沢よりも下流の護岸計画に則り、将来の維持管理を考慮し、工事用道路を設けられないか検討を行った結果、盛土造成を行うため小洪川左岸に道路を整備し、将来の維持管理等を考えております。

■鳶ヶ巣沢の工事計画

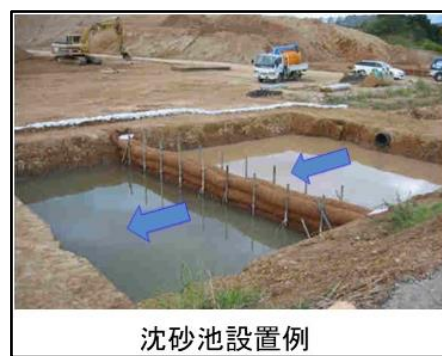
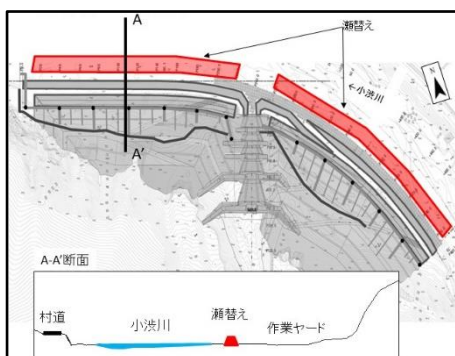
- 小洪川沿いでの工事となるため、アクセスに必要な左岸道路や土留擁壁・護岸等を優先的に進め、その後、盛土造成を行います。

○左岸道路整備【瀬替え・伐採、盛土工・護岸工、舗装工など】



護岸工イメージ

○準備工事【瀬替え・仮進入路整備、沈砂池設置、安全設備など】

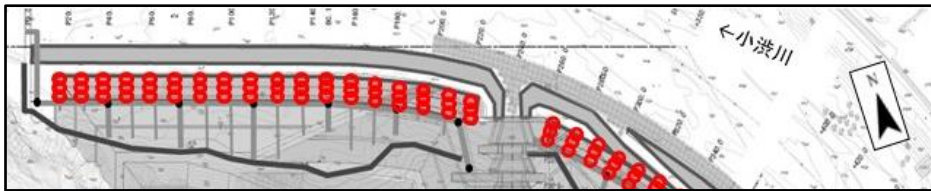


沈砂池設置例

左岸道路の整備に並行して、その他準備工事や土留擁壁工を進めるため、小洪川の瀬替えを行ったうえで、仮進入路を設けます。

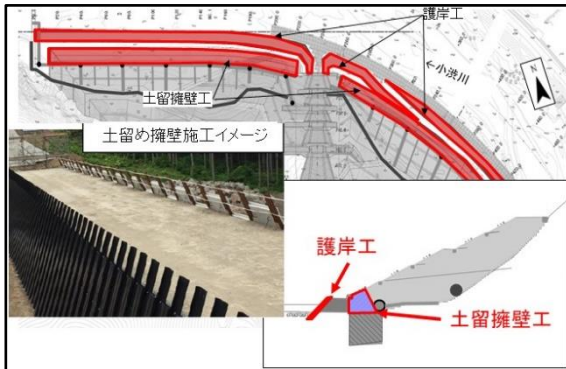
工事中、降雨等で土砂が下流に流出しないよう、排水を一時的に貯め、土砂等を沈下、堆積させる沈砂池を設置します。

○地盤改良



地上より支持地盤まで円柱状の地盤改良体（コンクリート柱）を造ります。改良体を重ね合わせることで地盤改良を行います。

○土留め擁壁工、護岸工



地盤改良のうえに、土留め擁壁を設けます。土留め擁壁は、鋼製もしくはコンクリート型枠の内部に、発生土とセメントを混合したコンクリートのような材料を敷き詰めて構築します。

○流路工

盛土工・排水工と並行して、流路工の整備を行います。流路工は、土留め擁壁と同様に、コンクリートもしくは鋼製型枠の内部に、発生土とセメントを混合したコンクリートのような材料を敷き詰めて構築します。

■工事中の安全管理

- 盛土等（左岸道路含む）の一部に蛇紋岩を活用するため、工事中は、適切に散水するとともに、念のため粉じんに関するモニタリングを行います。また、蛇紋岩は、鳶ヶ巣盛土本体や左岸道路の盛土内部材に活用し、表面を通常の土砂等で覆います。
- 日常点検に加えて、盛土状態を計測管理することで、安全管理を実施します。
- 日常点検や、計測管理等について、大鹿村・JR 東海等が確認・共有できるような連絡体制を構築します。

⑤ 中部電力パワーグリッド工事について

【送電線工事について】

- 本体工事は、仮設工事が終了し No.22～26 鉄塔の基礎工事中です。10 月以降、基礎工事が完了する鉄塔の組立工事、No.28 鉄塔の仮設工事を予定しています。
- 架線準備として、No.26～27～28 間の送電線下伐採を実施しています。

■2022 年度ヘリコプターの運行計画（実績と予定）

月	実績				今後の予定				
	6月	7月	8月	9月	9月	10月	11月	12月	1～3月
運航日数	2日	4日	4日	8日	2日	10日	10日	10日	5日

○次回（第26回）開催日程等について

- 次回開催時期を令和4年12月19日の週とし閉会しました。
- 大鹿村リニア連絡協議会質疑応答概要を大鹿村ホームページに掲載しております。